基準値一覧

目　　次

血球数・血液像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
凝固・線溶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
リンパ球サブセット・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
生化学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
脳脊髄液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
内分泌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7,8
腫瘍マーカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
自己抗体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
感染症・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
尿沈査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
尿定性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
血液ガス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

2001 年	9 月	1 日	初版
2003 年	4 月	1 日	一部改訂
2003 年	12 月	12 日	一部改訂
2004 年	4 月	1 日	一部改訂
2004 年	11 月	1 日	一部改訂
2005 年	8 月	1 日	一部改訂
2005 年	12 月	1 日	一部改訂
2006 年	4 月	7 日	一部改訂
2006 年	10 月	1 日	一部改訂
2007 年	3 月	1 日	一部改訂
2008 年	4 月	1 日	一部改訂
2009 年	4 月	1 日	一部改訂
2010 年	1 月	15 日	一部改訂
2010 年	7 月	1 日	一部改訂
2010 年	10 月	1 日	一部改訂
2014 年	2 月	21 日	一部改訂
2014 年	7 月	1 日	一部改訂
2018 年	1 月	26 日	一部改訂
2018 年	3 月	14 日	一部改訂
2018 年	10 月	1 日	一部改訂
2019 年	5 月	1 日	一部改訂

2020 年	8 月	1 日	一部改訂
2020 年	10 月	1 日	一部改訂
2020 年	12 月	1 日	一部改訂
2021 年	12 月	1 日	一部改訂
2022 年	4 月	1 日	一部改訂
2024 年	6 月	1 日	一部改訂

独立行政法人国立病院機構　仙台医療センター　臨床検査科

血球数・血液像

検査項目名	基準値	単位	基準値設定の根拠
白血球数	3.3～8.6	×10³/μL	JCCLS 共用基準範囲
赤血球数	M:435～555 F:386～492	×10⁴/μL	JCCLS 共用基準範囲
ヘモグロビン	M:13.7～16.8 F:11.6～14.8	g/dL	JCCLS 共用基準範囲
ヘマトクリット値	M:40.7～50.1 F:35.1～44.4	%	JCCLS 共用基準範囲
血小板数	15.8～34.8	×10⁴/μL	JCCLS 共用基準範囲
平均赤血球容積(MCV)	83.6～98.2	fL	JCCLS 共用基準範囲
平均赤血球血色素量(MCH)	27.5～33.2	pg	JCCLS 共用基準範囲
平均赤血球血色素濃度(MCHC)	31.7～35.3	g/dL	JCCLS 共用基準範囲
赤血球容積分布幅(RDW)	11.0～16.0	%	
平均血小板容積(MPV)	9.0～13.0	fL	
血小板容積分布幅(PDW)	9.0～17.0	%	

血液像(自動分析)

好中球	38.5～80.5	%	JSLH(日本検査血液学会)血球形態標準化 WG
リンパ球	16.5～49.5	%	
単球	2.0～10.0	%	
好酸球	0.0～8.5	%	
好塩基球	0.0～2.5	%	
網状赤血球	0.5～2.5	%	

血液像(目視)

桿状核球	0.5～6.5	%	JSLH(日本検査血液学会)血球形態標準化 WG
分節核球	38.0～74.0	%	
リンパ球	16.5～49.5	%	
単球	2.0～10.0	%	
好酸球	0.0～8.5	%	
好塩基球	0.0～2.5	%	
血沈 1hr	♂1～10 ♀3～15	mm	臨床検査法提要改訂第 31 版. 1998

凝固・線溶

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
プロトロンビン時間(PT)	70～130	%	シスメックス　試薬添付文書
プロトロンビン時間 INR	0.90～1.10		血液凝固検査ハンドブック.1992 (分析機対応にて小数点2位表示)
活性部分トロンボプラスチン時間(APTT)	24.0～34.0	秒	シスメックス　試薬添付文書
フィブリノゲン(Fib)	200～400	mg/dL	シスメックス　試薬添付文書
出血時間	1～3	分	臨床検査法提要改訂第31版.1998
全血凝固時間	8～12	分	臨床検査法提要改訂第31版.1998　中止
FDP	5以下	μg/mL	シスメックス　試薬添付文書
Dダイマー	1.0以下	μg/mL	シスメックス　試薬添付文書
アンチトロンビンⅢ(AT－Ⅲ)	80～130	%	シスメックス　試薬添付文書
第Ⅷ因子活性	60～140	%	シスメックス　試薬添付文書
血小板停滞率(血小板粘着能)	15.0～70.0	%	臨床検査法提要改訂第31版.1998 (小数点1位表示)

リンパ球サブセット

T・B細胞百分率			
CD3	55.0～89.0	%	臨床検査法提要改訂第31版,1998
CD19	4.0～23.0	%	臨床検査法提要改訂第31版.1998
T細胞サブセット			
CD4	27.0～60.0	%	臨床検査法提要改訂第31版.1998
CD8	16.0～42.0	%	臨床検査法提要改訂第31版.1998

生化学　　(試料名のない項目は血清の検査値を示す)

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
総タンパク	6.6～8.1	g/dL	ビウレット(Biuret)法 JCCLS 共用基準範囲
アルブミン	4.1～5.1	g/dL	ブロムクレゾールパープル(BCP)法 JCCLS 共用基準範囲
T-Bil	0.4～1.5	mg/dL	酵素法 JCCLS 共用基準範囲
D-BiI	0.2 以下	mg/dL	酵素法 試薬添付文書(LSI メディエンス社)
AST	13～30	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
ALT	M:10～42 F: 7～23	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
LDH	124～222	U/L	IFCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
ALP	38～113	U/L	IFCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
γ一GTP	M:13～64 F: 9～32	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
Ch-E	M: 240～486 F: 201～421	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
CPK	M: 59～248 F: 41～153	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
CPK-MB	7～25	U/L	免疫阻害法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社)

CK-MB 蛋白	0.6～3.5	ng/mL	電気化学発光免疫測定法（ECLIA） 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
トロポニン T	0.014 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定法（ECLIA） 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
ミオグロビン	M: 28～72 F: 25～58	ng/mL	電気化学発光免疫測定法（ECLIA） 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
アミラーゼ	44～132	U/L	JSCC 標準化対応法(GAL-G7-PNP 法) JCCLS 共用基準範囲
尿アミラーゼ	8～550	U/L	JSCC 標準化対応法(GAL-G7-PNP 法) 金井正光:臨床検査提要第 35 版:2020
リパーゼ	13～25	U/L	合成基質比色法 金井正光:臨床検査提要第 35 版:2020
尿 NAG	0～11.5	IU/L	6 ーメチルー2 ーピリジルーN ーアセチルー1 ーチオーβ ーD ーグルコサミニド(MPT-NAG)法ニットーボー試薬説明書
BUN	8～20	mg/dL	ウレアーゼ・GLDH・ICDH 消去法 JCCLS 共用基準範囲
クレアチニン	M:0.65～1.07 F:0.46～0.79	mg/dL	酵素法 JCCLS 共用基準範囲
尿酸	M:4.0～7.0 F:3.0～5.5	mg/dL	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン 2002 自施設追跡調査統計.2002 金井正光:臨床検査提要第 35 版:2020

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
血漿アンモニア	12～66	μg/dl	酵素法 日本臨床増刊 683P478:1995
総コレステロール	142～219	mg/dl	COD・POD 法 JCCLS 共用基準範囲 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2007
HDL コレステロール	M: 40～90 F: 40～103	mg/dL	化学修飾酵素法 JCCLS 共用基準範囲 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2017
中性脂肪	30～149	mg/dL	酵素法 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 31 版:1998 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2017

LDL コレステロール	65～139	mg/dL	直接法 JCCLS 共用基準範囲 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2017
Ｎａ	138～145	mEq/L	イオン選択電極希釈法 JCCLS 共用基準範囲
K	3.6～4.8	mEq/L	イオン選択電極希釈法 JCCLS 共用基準範囲
C1	101～108	mEq/L	イオン選択電極希釈法 JCCLS 共用基準範囲
Ca	8.8～10.1	mg/dL	酵素法 JCCLS 共用基準範囲
P	2.7～4.6	mg/dL	酵素法 JCCLS 共用基準範囲
Ｍｇ	1.8～2.4	mg/dL	酵素法 金井正光:臨床検査提要第 35 版:2020
鉄	40～188	μg/dL	Nitroso-PSAP 法（直接比色法） JCCLS 共用基準範囲

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
血糖	60～110	mg/dL	GOD 電極法 日本糖尿病学会の診断基準より設定
HbAlc	4.6～6.2 (NGSP)	%	高速液体クロマトグラフィー(HPLC)法 島健二ほか;糖尿病,37.855-864.1994
グリコアルブミン(GA)	12.3～16.9	%	文献～糖尿病学会委員会報告より～
蛋白分画			キャピラリー電気泳動法 フィンガルリング社設定
A/G	1.52～2.5		
Albmine	55.8～66.1	%	
α1-glob.	2.9～4.9	%	
α2-glob,	7.1～11.8	%	
β1 一 glob.	4.7～7.2	%	
β2 一 glob.	3.2～6.5	%	
γ一 glob.	11.1～18.8	%	
CRP	0～0.3	mg/dL	ラテックス凝集法 試薬添付文書（デンカ株式会社） 自施設追跡調査統計にて確認,2002

IgG	861～1747	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
IgA	93～393	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
IgM	♂ 33～183 ♀ 50～269	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
IgE	232 以下	IU/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
C3	73～138	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
C4	11～31	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
β2MG	0.5～2.0	mg/L	ラテックス比濁法 日本臨床 57 巻.増刊号(1).236-238:1999
ビタミン B12	197～771	pg/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
葉酸	3.6～12.9	ng/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
sIL-2R	204～587	U/mL	ラテックス凝集法 試薬添付文書(積水メディカル社)

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
プレアルブミン	M:23～42 F:22～34	mg/dl	免疫比濁法 試薬添付文書(ニットーボーメディカル社)
レチノール結合蛋白	M:2.7～6.0 F:1.9～4.6	mg/dl	ラテックス免疫比濁法 試薬添付文書(ニットーボーメディカル社)
トランスフェリン	M:190～300 F:200～340	mg/dL	免疫比濁法 試薬添付文書(ニットーボーメディカル社)
血漿浸透圧	275～290	mOsm/L	金井泉;臨床検査法提要.改定 32 版.2005
尿浸透圧	50～1300	mOsm/L	金井泉;臨床検査法提要.改定 31 版.1998

脳脊髄液

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠

髄液細胞数	0/3～15/3	/μL	
髄液比重	1.005～1.007		金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005
髄液蛋白量	10～40	mg/dL	金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005
髄液糖量	50～75	mg/dL	金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005
髄液Cl	120～125	mEq/L	金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005
髄液LD	<25	mU/mL	金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005

ホルモン

項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
TSH	0.50～5.00	μIU/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
FT3	2.30～4.30	pg/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
FT4	0.90～1.70	ng/dL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
NT-BNP	125 (心不全除外値)	pg/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）

コルチゾール(μg/dL)化学発光免疫測定法(アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体採取時間	検体数	基準範囲
血清	午前10時以前	150例	3.7～19.4
血清	午後5時以降	150例	2.9～17.3
尿	24時間蓄尿	128例	4.3～176.0/24時間

LH(mIU/mL)化学発光免疫測定法(アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
男性	199例	0.57～12.07
(月経周期正常女性)		
卵胞期	303	1.8～11.78
中間期ピーク	64	7.59～89.08
黄体期	294	0.56～14
ホルモン補充治療を受けていない閉経後の女性	124	5.16～61.99

FSH(mIU/mL)化学発光免疫測定法(アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
男性	54例	1.37～13.58
(月経周期正常女性)		
卵胞期	136例	3.35～21.63

中間期ピーク	24 例	4.97～20.82
黄体期	87 例	1.11～13.99
閉経後の女性	41 例	2.58～150.53

PRL(ｎｇ/mL)化学発光免疫測定法(アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
卵胞期	27 例	4～26.8
排卵期	21 例	6.0～40.9
黄体期	17 例	1.2～33.6
有経女性	65 例	3.5～32.7
閉経女性	57 例	0.6～18.5
男性	72 例	3.5～19.4

E2(ｐｇ/mL)化学発光免疫測定法(アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体数	95%範囲
男性	101 例	11～44
(月経周期正常女性)		
卵胞期	385 例	21～251
中間期	105 例	38～649
黄体期	466 例	21～312
(閉経後の女性)		
ホルモン補充療法なし	50 例	<10～28
ホルモン補充療法中	22 例	〈10～144

腫瘍マーカー

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
CEA	3,4 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
AFP	6,2 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
CA19-9	37.0 以下	U/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
CA125	35.0 以下	U/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
CA15-3	25,0 以下	U/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
PSA	4.000 以下	ng/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（アボットジャパン合同会社）
フェリチン	M:39.9～465.0 F:6.2～138.0	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
NSE	15.2 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
シフラ	2.8 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）
SCC 抗原	1.5 以下	ng/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（アボットジャパン合同会社）

自己抗体

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
RHF	0～20	IU/mL	ラテックス免疫比濁法 試薬添付文書(LSI メディエンス社)
CH50	30～50	U/mL	リボソーム免疫測定法 試薬添付文書(富士フイルム和光純薬)
寒冷凝集反応	16 以下	倍	金井　泉；臨床検査提要．改定 31 版．1998

感染症

検査項目名	基準値	単位	基準値設定の根拠
ASO	160 以下	IU/mL	ラテックス凝集法 試薬添付文書(デンカ株式会社)
HBs 抗原	0.05 未満を陰性	IU/ml	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（アボットジャパン合同会社）
HBs 抗体	10.0 未満を陰性	mIU/ml	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（アボットジャパン合同会社）
RPR	1.0 未満を陰性	R.U.	ラテックス比濁法 試薬添付文書（極東製薬工業株式会社）
TPHA(TPLA)	20 未満を陰性	T.U.	ラテックス比濁法 試薬添付文書（極東製薬工業株式会社）
HIV 定性検査	1.0 未満を陰性	S/CO	化学発光免疫測定法 試薬添付文書（アボットジャパン合同会社）
HTLV-1 抗体	1.0 未満を陰性	S/CO	試薬添付文書(アボットジャパン合同会社)

尿検査(沈渣)

検査項目名	基準値	基準値設定の根拠
赤血球	4 個以下/HPF	日本臨床検査標準議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4　尿沈渣検査法 2010
白血球	4 個以下/HPF	日本臨床検査標準協議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4　尿沈渣検査法 2010
円柱	(-) 硝子円柱は正常でも 出現する場合がある	日本臨床検査標準協議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4　尿沈渣検査法 2010

尿検査(定性)

検査項目名	基準値	基準値設定の根拠
比重	1.005～1.030	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
PH	5.0～7.5	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
蛋白	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
糖	(一)	月刊 MedlcalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
ケトン体	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
潜血	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
ウロビリノーゲン	(＋一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
ビリルビン	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
亜硝酸塩	(一)	月刊 MedicalTechnoiogy 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
白血球	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年

血液ガス

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
PH	7.35～7.45		機器添付文書(ラジオ・メーター社)
PCO2	32～48	mmHg	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
PO2	83～108	mmHg	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
HCO3-	21～28	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
ctCO2	21～27	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
ABE	-2～3	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
SBE	-3～3	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
SBC	21.8～26.9	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
sO2	95～99.0	%	機器添付文書(ラジオ・メーター社)